



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年8月9日

上場会社名 株式会社東京ソワール 上場取引所 東
 コード番号 8040 URL https://www.soir.co.jp
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）小泉 純一
 問合せ先責任者（役職名）取締役上席執行役員経営企画本部長（氏名）大島 和俊（TEL）03-6372-6712
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（記者向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年12月期第2四半期の業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	7,883	7.3	580	52.3	633	41.9	854	92.3
2022年12月期第2四半期	7,349	—	381	—	446	—	444	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年12月期第2四半期	250.16		—					
2022年12月期第2四半期	130.89		—					

（注）「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を2022年12月期の期首から適用しております。このため、2022年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率は、記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	15,051	9,401	62.5
2022年12月期	14,073	8,487	60.3

（参考）自己資本 2023年12月期第2四半期 9,401百万円 2022年12月期 8,487百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	20.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,300	7.4	200	△41.0	280	△37.7	600	15.6	176.39

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年12月期 2 Q	3,860,000株	2022年12月期	3,860,000株
---------------	------------	-----------	------------

② 期末自己株式数

2023年12月期 2 Q	430,130株	2022年12月期	450,868株
---------------	----------	-----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年12月期 2 Q	3,414,541株	2022年12月期 2 Q	3,394,066株
---------------	------------	---------------	------------

(注) 株式会社日本カस्टディ銀行（信託E口）が保有する自社の株式は、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	P. 7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2023年1月1日~2023年6月30日)における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行による行動制限や海外からの入国制限の緩和を受けてインバウンドを含む消費需要が回復するなど、経済活動の正常化が更に進みましたが、海外経済の減速への懸念や資源価格の高止まりなどもあり、先行き不透明な状況が続いております。

当アパレル業界におきましては、行動制限の緩和により社会活動の正常化が進み、各種オケーションの再開による外出需要の高まりから人流増加もあり、個人消費の回復傾向が見られました。一方で、物価上昇による消費マインドの冷え込みや、原材料及びエネルギー価格の上昇など、今後の事業環境への影響が依然として懸念されます。

このような経営環境の中、当社は2022年度を初年度とする中期経営計画に基づき、事業継続のための「効率的な財務体質の構築」と持続的な成長を実現するための「新たな収益構成の構築」、デジタルシフトや地球環境問題への配慮をはじめとする「社会環境変化への対応」に取り組んでおります。

卸売事業におきましては、継続して取引条件の改善や不採算店舗からの撤退を進めるとともに、「t o k y o s o i r ショップ」では、従来とは異なるカテゴリーの商品展開や、魅力的な売場づくりにより、新たなお客様の開拓に向けて取り組んでおります。

小売事業におきましては、直営店「フォルムフォルマ」は、卒入学式をはじめとする行事や式典の正常化による来店客数の増加に加え、オリジナル商品の提案やデジタル活用によるプロモーションを積極的に行い、唯一無二のショップへの進化に取り組んでおります。Eコマース販売では、自社ECサイトにおけるマーケティングツールの活用やポイント制の導入、ECサイト限定商品の提案を強化することで、売上を伸ばしております。

新規事業におきましては、レンタル事業は、リアル店舗と自社ECサイトの連携や多様化するお客様ニーズに対応した商品の拡充により堅調に売上を伸ばしております。ライフスタイルブランド「k u r o s ’」は、リアル店舗とECサイトの両軸で、各種プロモーションによる認知度向上を図り、事業拡大に向けて取り組んでおります。

このような結果、商品別の売上高は、ブラックフォーマルが51億67百万円(前年同四半期比8.3%増)、カラーフォーマルが14億51百万円(同3.0%増)、アクセサリ類が12億63百万円(同8.0%増)となり、当期の売上高は、前年同四半期比5億34百万円増の78億83百万円(同7.3%増)となりました。

利益面では、原材料価格等の上昇に伴う原価への影響はあるものの、主要アイテムであるブラックフォーマルの売上高が増加したことから、売上総利益率は前年同四半期比1.7ポイント増の52.8%、売上総利益は同4億12百万円増の41億65百万円(同11.0%増)となりました。販売費及び一般管理費は、売上高の増加に伴う販売促進費、荷運賃、店舗賃借料の増加や、成長に向けた投資もあり、全体では前年同四半期比2億13百万円増の35億85百万円(同6.3%増)となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、営業利益5億80百万円(前年同四半期比52.3%増)、経常利益6億33百万円(同41.9%増)、四半期純利益は8億54百万円(同92.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は150億51百万円となり、前事業年度末に比べて9億78百万円増加いたしました。これは主に、土地の減少1億60百万円があったものの、現金及び預金の増加7億19百万円や棚卸資産の増加6億20百万円によるものであります。

負債は、前事業年度末に比べて64百万円増加し56億50百万円となりました。これは主に、契約負債の減少1億15百万円があったものの、仕入債務の増加3億83百万円によるものであります。

純純資産は、前事業年度末に比べて9億13百万円増加し94億1百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加7億75百万円やその他有価証券評価差額金の増加1億11百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べて、7億19百万円増加し30億70百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は2億61百万円(前年同四半期は6億27百万円の収入)となりました。これは主に、棚卸資産の増加6億20百万円があったものの、税引前四半期純利益9億39百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は6億25百万円(前年同四半期は1億18百万円の収入)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出15百万円があったものの、投資有価証券の売却による収入6億51百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億67百万円(前年同四半期は7億1百万円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払69百万円やリース債務の返済による支出77百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期通期業績予想につきましては、物価上昇による消費者の節約志向の高まりや資源価格の高騰による製造原価への影響など、先行き不透明な状況が続いていることから、現時点において変更の予定はありません。今後、修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,351,024	3,070,357
受取手形、売掛金及び契約資産	1,892,335	1,819,986
電子記録債権	36,231	23,439
商品及び製品	3,686,328	4,270,228
仕掛品	288,256	325,069
原材料	9,176	8,924
その他	185,470	155,986
貸倒引当金	△338	△697
流動資産合計	8,448,483	9,673,296
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,960,115	1,799,440
その他(純額)	722,451	698,164
有形固定資産合計	2,682,566	2,497,605
無形固定資産		
443,843		375,531
投資その他の資産		
投資有価証券	1,234,485	1,205,629
賃貸不動産(純額)	856,745	840,970
繰延税金資産	20,658	67,582
その他	387,367	393,829
貸倒引当金	△1,076	△2,739
投資その他の資産合計	2,498,180	2,505,271
固定資産合計	5,624,590	5,378,408
資産合計	14,073,074	15,051,704
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	669,740	665,906
電子記録債務	1,776,720	2,164,067
契約負債	406,569	291,373
1年内返済予定の長期借入金	40,000	40,000
未払法人税等	63,580	225,547
資産除去債務	3,025	—
その他	934,929	688,765
流動負債合計	3,894,564	4,075,659
固定負債		
長期借入金	650,000	630,000
退職給付引当金	592,414	573,199
資産除去債務	133,769	139,450
その他	314,578	231,904
固定負債合計	1,690,763	1,574,555
負債合計	5,585,327	5,650,214

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,049,077	4,049,077
資本剰余金	3,732,777	3,732,777
利益剰余金	1,074,950	1,850,470
自己株式	△594,833	△567,648
株主資本合計	8,261,972	9,064,676
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	225,774	336,813
評価・換算差額等合計	225,774	336,813
純資産合計	8,487,747	9,401,490
負債純資産合計	14,073,074	15,051,704

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)
売上高	7,349,121	7,883,252
売上原価	3,595,913	3,717,307
売上総利益	3,753,207	4,165,945
販売費及び一般管理費	3,371,721	3,585,051
営業利益	381,486	580,893
営業外収益		
受取利息	215	176
受取配当金	29,779	22,193
受取賃貸料	51,738	51,904
助成金収入	11,992	—
その他	6,822	7,588
営業外収益合計	100,548	81,862
営業外費用		
支払利息	12,624	6,330
賃貸費用	21,783	21,564
その他	994	1,110
営業外費用合計	35,403	29,006
経常利益	446,632	633,749
特別利益		
固定資産売却益	234	—
投資有価証券売却益	6,043	465,977
ゴルフ会員権償還益	16,550	—
特別利益合計	22,827	465,977
特別損失		
事業構造改善費用	2,448	—
減損損失	—	160,675
特別損失合計	2,448	160,675
税引前四半期純利益	467,010	939,052
法人税、住民税及び事業税	44,320	176,870
法人税等調整額	△21,565	△91,989
法人税等合計	22,754	84,880
四半期純利益	444,256	854,171

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	467,010	939,052
減価償却費	130,961	127,500
減損損失	—	160,675
受取利息及び受取配当金	△29,994	△22,369
支払利息	12,624	6,330
投資有価証券売却損益(△は益)	△6,043	△465,977
固定資産売却損益(△は益)	△234	—
ゴルフ会員権償還益	△16,550	—
事業構造改善費用	2,448	—
契約負債の増減額(△は減少)	237,203	△115,196
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△190,000	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	28	2,021
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△15,539	△19,215
売上債権の増減額(△は増加)	△145,267	85,140
棚卸資産の増減額(△は増加)	484,402	△620,462
前払費用の増減額(△は増加)	27,233	34,291
仕入債務の増減額(△は減少)	333,819	383,513
未払金の増減額(△は減少)	△132,119	△106,040
未払又は未収消費税等の増減額	△154,945	△131,016
その他	△8,242	13,098
小計	996,794	271,346
利息及び配当金の受取額	29,994	22,369
利息の支払額	△12,370	△6,376
事業構造改善費用の支払額	△253,658	—
法人税等の支払額	△133,736	△25,986
営業活動によるキャッシュ・フロー	627,024	261,353
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△60	△60
投資有価証券の売却による収入	92,119	651,000
有形固定資産の取得による支出	△2,400	△15,547
有形固定資産の売却による収入	5,933	—
資産除去債務の履行による支出	—	△2,906
貸付金の回収による収入	5,093	2,187
敷金及び保証金の差入による支出	△1,079	△7,807
敷金及び保証金の回収による収入	1,536	—
預り敷金及び保証金の受入による収入	95	—
ゴルフ会員権の償還による収入	17,750	—
その他	—	△1,661
投資活動によるキャッシュ・フロー	118,988	625,203

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△600,000	—
長期借入金の返済による支出	△20,000	△20,000
配当金の支払額	△28	△69,475
自己株式の取得による支出	△230	△134
リース債務の返済による支出	△81,694	△77,612
財務活動によるキャッシュ・フロー	△701,953	△167,223
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	44,059	719,333
現金及び現金同等物の期首残高	1,555,100	2,351,024
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,599,160	3,070,357

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。